

第2次十日町市立小・中学校の学区適正化に関する方針 令和元年度説明会の概要 (R1.7.31 現在)

【十日町地域】

		日時、会場等	主な意見等
※ 十日 町地 域	日時	7月3日(水)	<p>① 地域の伝統や文化を考えていない。もっと地域と話し合っ決めてほしかった。少人数でも優秀な子どもを育てる教育はできるし、実際にそういう学校もある。大井田地区は、昔から中条中学校に通っていた伝統ある地域であり、地域と学校のつながりもあり、地域の精神的なものや浄財により成り立っている。伝統や経過を考慮しないと話ができない。</p> <p>[答]少子化によりある程度の人数を集めることで、学校教育の可能性が広がるという考え方である。地域の皆様に方針の考え方について、これからしっかりと説明して提案させていただき、それを踏まえて地域の文化や伝統などについても皆様と意見交換させていただきたい。</p> <p>② 今の説明で、地域に説明に入って、説得できると思うか。地域自治組織を防波堤に地域を説得するように見える。方針を冊子にする前に、もう少し住民に寄り添った提案の方法があるのではないかと。丁寧に説明しないと住民の同意を得るのは難しいと思う。</p> <p>[答]地域自治組織の皆さんから市民を説得していただく考えはありません。新聞報道などで断片的な情報しか届いていなかった。地域に入り、保護者や学校運営協議会、住民の皆さんに丁寧に説明申し上げ、ご理解賜りたいと考えている。</p> <p>③ この方針で学校再編を行うことが決定しているのか。行政は、説明会を行い、地域には説明済みとして決定することがある。市民が反対した場合に、その意見に従い修正することがあるのか。</p> <p>保護者は、誰を対象としているのか。令和10年というところ現在の小学生の保護者は、自分に関係ないため興味がないという話である。これから保育園に入る子どもの親の方が心配している。</p> <p>[答]統合の場合、PTA会長や地域の代表から、統合に関する要望書を教育委員会へ提出いただいてから動き始めるというのが前例である。その後条例に基づき地域自治組織に対し、意見を求めることになる。方針を作って説明会が終了すれば統合を進めるということではない。地域で話し合いをしていただく中で統合を考えていただきたい。保護者については、未就学児の保護者を含む。</p> <p>④ 今回の方針の説明を聞いて、新たなアイデアがあった場合に方針の変更は可能なのか。この方針で話し合っほしいのか。また、川西、中里、松代地域で中学校が無くなること、小学校がそのうちにひとつに統合されるとなると、人口減少や過疎化がますます進行すると思う。全国的にも少子化が進んでいる中で、教員が足りないなら増やすような知恵を絞って、少人数でもできる教育を考えられないか。夢があって教育方針が素晴らしい、ここに家庭を作ろうと思えるような十日町市にしてほしい。大統合をしない方向で案を皆で考えてほしい。</p> <p>[答]十日町市の教育が良いということで県外から転入された例がある。それは、平成25年に十日町小学校</p>
	会場	段十ろう ホール	
	対象	十日町地域自治組織(役員)	
	人数	40人(9組織)	

			<p>を改築した際に、併せて市立ふれあいの丘支援学校を開設し、共生教育を実施していることから、その教育を望まれ一家で転居されたというものである。そういうことから努力していきたいと思う。</p> <p>教員については、県の採用であるが給与は国の負担もあることと、特別支援の子どもが増えていることからそのための教員の確保が必要なこともあり、普通学級の教員数がなかなか増えない状況がある。</p> <p>方針については、基本的にはこの方針通りにできれば良いと考えているが、市内の各地域自治組織、保護者、一般市民への説明会が終わった段階で、ご意見やアイデアを見ながらどういうことができるか検討したいと思う。</p> <p>⑤ 10年後という現状の在校生のPTAにできるだけ早く説明するとしても関係ないと思う。これから説明会をする対象を地域自治組織に相談するというが、未就学児の保護者は組織化されていないため、どういところから統合に対する意見を挙げてもらうのか。</p> <p>[答]複式学級校には、7-8月中旬に各学校の運営協議会及び小学校の現保護者には説明する予定である。中学校区単位を原則として地域自治組織の範囲とした中で、現PTA保護者と未就学児の保護者を対象に、基本的には一緒に説明会をしたいと考えている。</p>
十日町地区	日時	7月30日(火)	<p>① 説明会等ではどのような反対意見が挙がっているのか。参考事例を数件教えてほしい。</p> <p>[答]松代地域からは反対署名をいただいた。松代地域から南中学校への通学に60分弱で今までより30分余計にかかることで子どもたちの負担が大きくなることへの不安。閉校することで地域がいつそう寂れてしまう不安がある。パブリックコメントでは、飛渡第一小学校の関係で14件の統合反対意見があった。平成30年度は児童数11人であったが、今後増加する見込みがあるということで残してほしい。また環境教育に特色ある教育をしており、地域の皆さんとそれを大事にしていきたいということである。最近、橘地区で統合に反対し存続を要望する署名をいただいた。基本的には、地域に反対があれば統合は進められない仕組みになっている。できるだけ丁寧に説明申し上げ、ご理解を賜りたい。</p> <p>② 地域住民に対する説明は、どういう形を考えているのか。地区振興会なのか、教育委員会主催で意見をうかがうのか教えてほしい。</p> <p>[答]今後地域にどんな形で説明にうかがえばよろしいかという相談である。学校へは個別に説明するが、地域自治組織の了解なしで、地域への説明に入ろうと思っていない。ひとつの提案として11月にこの地域全体の説明会をイメージしている。また、学校区ごとなど説明会の希望があればお邪魔させていただく。主催は、教育委員会でも、振興会主催のものに説明にうかがってもどちらでも結構である。</p> <p>③ 当地域では、東小学校が中学校へ進学するエリアが変わるということだが、大井田地区は変わるが新座地区は大きな変化がないので理解されると思う。具体的に各振興会にどういう説明をするかについては、よく方針を見返してみないと分かりづらい部分がある。振興会で理解をされ、連合会で意見をうかがう形をとった中で、連合会の意見のまとめをしなくてはならないと思う。</p> <p>④ 説明を受けたのは、地域連合会の役員だけであるので、これをもって説明を終わったと理解しないでほしい。できるだけ細かい単位で、地域の皆さんに丁寧に説明して了解を得るのが大事だと思う。地域の振興会</p>
	会場	中央公民館	
	対象	十日町地域振興連合会 理事会	
	人数	25人	

			<p>を回って説明したから了解を得たということにはしないように願う。</p> <p>[答]丁寧な説明を繰り返していきたいと思う。</p> <p>⑤ 自分たちにあまり関係がないからではなくて、十日町市全体として皆で協力して考えるという説明の仕方が大事だと思う。松代、松之山、橘を全部含めて一緒に考えることによって、共感できたり歩み寄っているのではないかと思っている。うちの地域は、東小学校と十日町中学校だからいいという考えは捨てて、市として捉えていく方が説明としてはいいのではないか。</p> <p>[答]今日お持ちした方針に基づいて、どの地域でも同じ説明をさせていただこうと思っている。</p> <p>⑥ 地区振興会の皆さんが、説明の仕方をそれぞれが判断いただきながら、地域住民の皆さんの意見をうかがう必要があると思うが、今この場で結論は難しいのでご理解いただきたい。</p>
吉田地区	日時	7月24日(水)	<p>※「吉田中に小学校を併設し、小中一貫校の設置要望に対する回答(希望には沿えない)」も行った。</p> <p>① 7月3日の説明会でも使われていた「子どもファースト」という言葉は、トランプ大統領のアメリカが良くなれば他はどうなっても良いという考え方であり、地域がどうなっても我慢しろということで、多様な考えは無視するということであり、「子どもファースト」は使ってほしくない。</p> <p>② なぜ一定数の学級数を確保することが、ふるさと十日町を愛すること、自立して社会で生きる子どもを育てることにつながるのか。</p> <p>[答]小さな学校にもメリットがあり、デメリットもある。子どもたちにより望ましい教育環境で可能性を広げるには、ある程度の規模が良いのではないかという考え方である。小さな集団であると保育園の頃から人間関係が固定化してしまうという弊害がある。学校側の問題として、少人数では性格が合わないものが集まってしまうと連携がうまくいかないなどの話がある。子どもたちにとっては、ある程度の規模があることで、ふるさと十日町を愛し自立して社会で生きるという環境をつくることになると思う。ふるさと教育についても広い地域と視野で、多くの人と交じり合うことが子どもたちの可能性を広げるものと感じている。</p> <p>③ 小規模校では逃げ場がないと言われ、学区がその逃げ場を閉ざす要因だと思う。特色のある小規模校を残し、選んでそこへ行けるような形が望ましいと思う。これから教育が変わっていく中で、今までの価値観のまま統廃合を進めることが、今までと同じ教育をすることになると危機感を持っている。</p> <p>[答]新しい学習指導要領が決まり主体的、対話的に学ぶ環境をどう整えるか。また英語が5・6年生の教科となるため、教諭の研修会等をさらに充実する必要がある。また、プログラミングについての考え方も小学校から教える。大きな改革だと思うが、子どもたちのためにしっかり対応したいと思う。</p> <p>学校を選んで就学する学校選択制としている自治体もあるが、当市は今その考え方は無い。まつのやま学園については小中一貫校として開校し、市内全域から保護者が送迎して通わせることができる。ふるさと教育と英語教育に特色ある教育を実施しており、市外から希望して就学した例もある。鑑島小と吉田小は少人数となり、時には、学校の運動会を合同で行うこともあって良いのではないかと思う。</p> <p>④ 中学校の再編では、信濃川から西側の中学校が一つも無くなるが、何か意味があつてそうになっているのか。昨日松代中学校区で説明会があつたようだが、どういう状況であつたか教えてほしい。</p>
	会場	吉田公民館	
	対象	吉田地域自治振興会 (役員、教育文化委員、 区長等)	
	人数	30人	

[答]川西側に中学校が無いということは特に意識したものではなく、南中と吉田中、松代中の統合は国道 253 の沿線にある地域的な連坦が持てるのではないかという考え方である。東小学校の卒業生が十日町中と中条中に別れていた課題を十日町中に通うようにする。中条中に下条中と川西中を統合するが、下条中の生徒数が減少していることと、川西中は将来的に2クラスを維持できなくなる見込みがあることから、大きな規模に再編してはどうかという考え方である。松代地域は、地域自治組織への説明であったが、地域文化を子どもたちにどう与えるのかということを中心にしたいという意見があった。孟地小学校の伊沢和紙の卒業証書の例では、松代小学校がそれを引き継いでもらえた。光る特色ある活動は、統合後も引き継いでほしいと思う。松代地域は、通学時間が30分ほど余計になることから、スクールバスと市営バスを利用する中で、子どもたちに負担の少ない方法をこれから検討する。また、松代中の耐震化と大規模改修などについての質問があった。

⑤ 学校が地域に及ぼす影響や役割などを置いて、人数の集約だけになっているのではないか。これからの教育はAIやプログラミングなどデジタルを深掘りしたものになると思う。距離を無くすことができ、画面を見ながら授業ができる。あえて集約して学校を無くさなくてもいいのではないか。集団教育が必要な場合はそういう機会を作れば良い。地域に配慮しながら学校の集約について話をしないと、反対となる。IT関係の機器に莫大な費用がかかると思うが、集約しなくても教育できる環境が整ってきている。それを含め検討してほしい。

[答]貴重なご意見としてありがたく承る。

⑥ 今の流れは結論ありきで説明会を開き、最終的には市の主導で再編するという諦めムード的なものもあると思う。鑑島・吉田小学校の当事者とすれば、どちらに統合としても受け入れられると思うが、中学校に関しては、松代中学校区では南中に行きたくないという話を聞いている。また川西側に中学校が無くなることも、市の政策の流れが市の中心部に全て施設が集約される形が見える。吉田地区とすれば昨年要望書を提出したものが第一の希望であるが、松代、吉田、川西とまつのやま学園も含めて川の西側に学校を再編し、上沼道のインターなどあえてシンボリックな環境を作ることで、人の流れを川の西側に持ってくるという方向性を市が将来像を示して、吉田クロカンコースや景観などの教育環境、生活環境を整え、中心部だけでなく川の西側にも活性化を図るような対策を行わないとそのうち地区が無くなってしまいう危機感がある。

[答]川の西側に、松代中、吉田中、川西中を再編ということもひとつのご提案であると思う。他の説明会の中で、この方針が絶対なのかという質問があるが、より素晴らしいアイデアがあれば検討させていただきたいという姿勢である。今のご意見も地域全体の要望があれば、教育委員会として検討しなければならないと思う。松之山中学校について、令和12・13年度に複式学級となることが予想され、課題と思っているが、旧松之山町で山村留学を受け入れたことがあり、それについても検討が始まっているようである。その推移を見ながら、人数を維持できるならばまつのやま学園として継続する。そうでなければ、あらためて地域の皆さんにご相談しなければならないと考えている。

⑦ 吉田中学校が南中学校に統合することで、吉田地区から世帯の流出が懸念される。この方針にはそういう

			<p>ことが考えられているのか。</p> <p>[答]そういうことは想定していない。複式学級を避けるために子どもが小さいうちに転居という例はあるが、将来的統合するからということでの予測はわからない。</p> <p>⑧ 教育の選択肢の無い地域に子育て世代は移動しないと思う。右肩下がりのグラフを何とかしたいのなら、人に来てもらうしかないが、学校がある地区への移動は大いにあると思う。教育の内容が重要で、過疎化が課題の先進地は、教育の先進地に変わることで人口の流入が増えるケースが非常に多い。子育て世代が移動してくるには、教育環境が整っていることが大前提だと思う。</p> <p>[答]島根県の海士町では、高校改革により都会から生徒が増えてきていると聞く。当市でも飛渡第一小学校が、平成30年度は11人で2クラスの複式学級であったが、これから児童が増えて令和6年度には29人になる。この中には都会から移住してきた世帯の子どもも入っている。しかし、未就学児の保護者の一部からは中条小学校へ早く統合してほしいという意見もある。</p> <p>⑨ 結論ありきでなく説明して、保護者の生の声を聞いて地域の声と併せて検討してほしい。保護者からは吉田地区で要望したことが何年もかかるようなら、早く複式解消の統合をしてほしいという話があるかもしれない。また、歩いて通える学校が良いという考えもあり、折衷案として吉田中学校に小中一貫校と言う要望をした。その後になくなったのかという説明をしておらず、新聞報道だけが先行して、もう決まったこととして市が動いていると保護者は思っているのではないかと。早い段階で説明会をした方が良いと思う。</p>
水 沢 地 区	日時	7月18日(木)	<p>① 報道で、水沢中学校と中里中学校が一緒になるというが、水沢中学校は受け入れ側であり、中里地域の皆さんがどのような考えを持っているのか現状を教えてください。また、借地料の問題が議会でも質問に挙がったが、地権者の理解を得た中で広大なグラウンドがあり、借地料も市内で一番高いのではないと思う。中里地域では借地料がないとの話も聞いている。説明会あるいはそれまでの過程で、情報があれば聞かせてほしい。</p> <p>[答]中里地域には7月16日に説明を行い、借地料の問題も話があった。また、中里地域の皆さんは地元で中学校が無くなることで切ない気持ちも吐露されていた。中里地域の子どもたちが少なくなっているという現実があるという悩みのなかで議論されていくものと思う。借地料については、毎年800万円ほど支払っており、地権者の許可がなければ学校建設ができなかったもので、大きな感謝を申し上げなければならないのであるが、毎年800万円というのも市の財政にとっては大きなものになっている。それについては、縮減できないか、できれば買わせていただけないか。一方グラウンドが広大であるので、お返しできる部分がないのかどうか。多方面に渡りこれから検討しなければならないと考えている。</p> <p>方針を定めたところだが、住民の皆さんにしっかりと説明申し上げ、市民が話し合って教育委員会任せではなく、意見交換しながらコンセンサスをとっていただければ有り難いと思う。</p> <p>② 今日の説明を基に、皆さんから後日新しいアイデアが浮かんだとかあれば、次の会で提案していただいても、まだ検討する余地があるという説明があったので、水沢地域としての考え方の方向性を出していくその初日と思っていただければ良いと思う。秋に向けて学校単位の説明会など動きがあるということで、自分た</p>
	会場	水沢公民館	
	対象	水沢地区振興会 (理事、総代)	
	人数	50人	

		ちの集落においても話題に取り上げていただければと思う。
--	--	-----------------------------

【川西地域】

日時、会場等		主な意見等
日時	7月29日(月)	<p>① 川西中学校が耐震化工事により以前より小さくなった。この再編方針では、統合されて廃校となる。耐震化にあたり校舎を小さくして、生徒が入れないから統合すると受け取れる。お金をかけてわざわざそんなことをしたのはなぜかはっきりとした理由をうかがいたい。下条中についてもお金をかけて耐震化したのに、統合するとういうのが納得できない。この方針を分かっていたなら、なぜ耐震化工事をしたのか。</p> <p>[答]川西中学校の教室棟は1学年4クラスあり特別教室棟は別にあった。耐震化は平成28年2月に完成しており、国の事業としての考え方が、その時の在籍する子どもの数でクラス数が決められるというもの。現在の1学年2クラスの教室となり、特別教室も含めた教室棟になった。第1次の適正化の方針が平成22年の2月に策定し、平成30年度までの10年間を計画していた。中学校は現状を維持するという記述であった。第2次方針については、今年の7月から検討が始まったもので、子どもが少なくなるという議論の中で、統合したらまた統合とならないようにしてほしいとの意見が強かったと思う。そのために中学校では1学年2クラス以上という基準にしながら統合を考えたという答申であった。その答申を受けて教育委員会は最終的に令和10年度を目標とした方針にした。</p> <p>② 小中一貫教育などの考え方を検討していたと思うが、なぜ今更こんな話をするのか。もっと長い目で見べきではないか。児童生徒数の推計には明らかに偏りがある。周辺部だけが極端に減少し、中心部はさほど減っていない。中心部をもっと再編すればばらけると思う。学区の集落の区割りを変えていけば、極端に多い学校にはならないのではないか。</p> <p>[答]学区の集落の区割りについては、基本的には今の学区が合理的な理由により決められたものであると思う。東小学校については、新座地区と大井田地区が通っているが、中学へは新座地区の子どもたちは十日町中学校へ、大井田地区の子どもたちは中条中学校へ通っている。6年間の友達関係があるので一緒に十日町中学校へ通わせたいということで提案した。</p> <p>③ 中学校の統合について、原則大規模改修は行わず既存の学校施設を活用するとしているが、大金をかけて耐震化した学校をなぜ活用できないのかという意見はもっともである。中条中学校は借地があると聞いたが、川西中学校の全敷地が市の所有ということから、この統合には無理があるのではないか。方針にあるように、豊かな環境を活用しながら実りのある学校教育を進めたいというのであれば、周辺部の活性化を考えてほしい。なぜ旧十日町市に集中させる必要があるのか、もっと広い視点で方針を検討してほしい。</p> <p>[答]学校の耐震化については、国が平成27年度までに達成するようという方針があり、当市は最終的に平成28年度末に達成できた。大きな投資については一段落と考えているが、危険な状態や緊急的な状態になれば改めて手当てしなければならない。その一貫として、エアコン設置については命に関わる問題という</p>
会場	千手コミセン	
対象	川西地域振興会 理事会	
人数	25人	

1

ことで、今年5月末までに対応した。借地について、中条中学校には面積が641㎡で3万円余りの借地がある。借地についてはできるだけ解消していきたいと考えている。

④ 上野小学校区は、保育園が橘から統合され、仙田小学校が統合され、今まで受け入れてきた立場である。市長が推進する、住み継がれるまちづくりということで、地域に愛着を持った活動を取り組んできた。この方針は数が表に出て教育の一極集中という感じがして、地域の活性化や地域の特性を活かすことには逆行するものと思う。上野振興会として、子どもたちに自分たちの地域を継いでもらいたいとして活動している。川西中が中条中に統合することがいいのかどうか。景観的にも良い場所なのに、河岸段丘側に中学校が無くなる。松代、吉田、川西が一緒になって、吉田地区でも良いと思うが、川西側に中学校があっても良いと思う。地域を愛する子どもたちを育てる環境として何が良いのか。もう一度考え直してほしい。

[答]川西側になぜ学校を残せなかったかについては、川西中学校は1学年2クラスの規模で、当面は松代中と吉田中を受け入れられない。地域に愛着のある活動については、地域の支援なしではできないと思っている。エリアが広がった場合にその活動ができないかという、色々な要素が出てできると考える。旧川西町は昭和31年に合併して、その5・6年後に川西中学校ができ、千手中学校と上野中学校が統合したという経過がある。自分自身がその7年目の入学であり、新しい環境の中でも地区にこだわらず学びができた。学区が広がっても子どもたちは新しい文化を吸収できる力があると思う。

⑤ 橘地区振興会としては、橘小学校の存続について教育長に要望書を提出した。地域の皆さんは橘小学校が無くなることに非常に興味があり、450世帯のうち407世帯1,254名の署名をいただいた。学校が無くなると過疎化が進んでしまうと思う。川西中学校の統合で川西地域がますます過疎化になる。川西地域に小中一貫校という考えは無かったのか。下条地区でも小学校と中学校を一緒にしてから5・6年だと思う。小千谷南中学校も人数が少なく70人割っていると思う。川西中は、10年後でもまだかなりの人数がいるので、学校を残してほしい。

[答]先般、橘地区振興会様から要望をいただき、地域に学校がなくなる切なさは良くわかる。何とか学校を残せないかということであるが、一方で保護者にはある程度の規模で学ばせたいという考えもあると思う。小規模な学校でもメリットがあり、その反面デメリットがある。統合により学ぶ環境が少しでも良くなればという考え方で提案している。小中一貫校については、川西中学校に新たな校舎を建築しなければならず、相当な費用が必要となる。今後10年間については、大きな投資はしないという方針の中で、新たな小中一貫校の考え方は持っていない。

⑥ 教育長が、千手中学校と上野中学校が統合したと言われたが、中条中学校との統合は規模も移動距離も全然違うと思う。川の西側に中学校を一つ残してほしい。改修後の川西中学校では教室数が足りないと言われたが、なぜそれを見越して改修ができなかったのか疑問である。わざわざ小さく改修して、統合には教室数が足りなくて学校を残せない、なんていうのは本末転倒である。何でそんな改修をしたのか。

[答]平成28年2月の改築であるが、計画を作る段階での子どもの数を基に設計している。その当時に中学校統合を議論するという環境ではなかったため、ご容赦賜りたい。2クラスの生徒数なのに3から4ク

		<p>ラスの規模の学校を建築するには、国の補助事業対象外となって、市単独の資金で建築することになる。不確定な要素を考慮して市が学校を建築することは、当時の発想には無かった。</p> <p>⑦ 大規模な投資をしないということなら、給食センターがある川西中学校を活用することは理に適っていると思うので、再考してほしい。</p> <p>[答]教育委員会は方針を定めたが、説明会をする中で色々な意見をいただくと思う。教育委員会の考え方と整合する良いアイデアがあれば、積極的に検討しなければならないと考えている。</p> <p>⑧ 説明について2度納得できないという意見があった。納得できないという意見が強かった場合はどのようにするのか。中学校が無くなることで、地域の人達の不安と残念という思いがある。</p> <p>[答]納得できないということで大きな反対があれば、教育委員会が考えた方針通りには進まないということである。旧松之山町では山村留学という制度で都会の子どもたちを受け入れ学校に通わせていた。児童・生徒数の推計は、生まれた子どもの数の積み上げである。今後子どもの数が増える方向があれば、川西中学校は当面1学年2クラスを維持するので存続の可能性はある。</p>
--	--	--

### 【中里地域】

		日時、会場等	主な意見等
1	日時	7月16日(火)	<p>① 中里中学校と水沢中学校を比較して、少し新しい水沢中学校に統合する計画であるが、周辺部が中心部へ集約されるように見える。周辺地域の過疎化を防ぐために、同規模で若干の建設時期の違いしかない中里中学校に統合するよう、意見を聞いて方針を変更することはあるのか。意見は無かったのか。また、通学距離について、中里と水沢でどちらが多く遠くから生徒を集めてくるのか。</p> <p>[答]この方針を説明する中で、より良い考え方があれば検討はやぶさかでない。検討委員会では、水沢中学校の借地については資料提供せずに、子どもたちのより良い教育環境についてのみを検討いただき施設の状況等で水沢中学校に統合という方針になった。地域振興となると教育委員会だけでなく市全体として検討しなくてはならない。通学については、どちらの中学校もスクールバスで通学している生徒があるので、どちらも同等の距離を通学することになる。</p> <p>② 水沢中学校の借地の金額を教えてください。また、市が財政的に厳しい中で借地を解消すれば、その分を教育費に回せると考えられる。それでも水沢中学校に統合する理由を聞きたい。</p> <p>[答]水沢中学校の借地料は年間800万円程度である。グラウンドなど広い敷地が必要か検討し、できるだけ減らすことまたは購入も考えている。</p> <p>③ まつのやま学園が複式となる場合に統合先は、南中学校より中里中学校の方が良いのではないかと将来的に津南町も考えると中里が中心となると思う。借地料分が10年で校舎の解体費が賄えると思う。買収ができるのであれば、すでにお買収していると思うのでむずかしいだろう。</p> <p>[答]まつのやま学園については、令和13年度には中学校として複式学級となる見込みであるので、統合を</p>
	会場	中里支所	
	対象	中里地域まちづくり協議会 理事会	
	人数	25人	



		<p>検討しなければならない。なお、松之山地域では山村留学を取り組んでいたことがあり、また改めて山村留学に取り組む検討をしたいとの考えがあるため、その推移を見ていきたい。</p> <p>④ 決まったことではなく、地域で意見を聞いて再考の余地があるものか。このまま統合を進めると決まっているなら、地域で説明しても意味が無いのではないか。</p> <p>[答]教育委員会としてはこれが最良として説明しているが、これ以上にいいアイデアや状況の変化があれば改めて検討の余地はあると考えている。</p> <p>⑤ 地域の皆さんに説明する際に、借地のことで 800 万円払っても水沢中に統合する本当の理由は何か、納得のできる説明を聞きたいと思うので、資料等を持って十分に納得できる説明をしてほしい。</p> <p>[答]ご意見に感謝する。</p> <p>⑥ 清津峡から中里中学校へは 10k m 近く距離があるのにさらに水沢となると、山間部の住人は子どもを作っても大変なばかりである。これを見て感じたのは、辺りな所を切り捨てていく方針にしか思えない。地域が元気になるには地域に子どもがいないと元気にならない。教育を受ける機会が平等に与えられていると言っても通学距離が遠いのはリスクが大きい。</p> <p>[答]子どもの数が減っているからこのような話をせざるを得ない。地域の皆さんが十分話し合いをされた中で、どういう方向にするか決めていただきたい。地域の皆さんの同意がなければ一歩も進めないと思っている。</p> <p>⑦ 統合を受け入れる地域については、反対はない。統合される地域の皆さんによく説明して理解を得ていただきたい。特に、中里と水沢は同等の地域であるため、検討委員会で借地料を提示しなかったのも問題があると思うが、その点もよく説明してほしい。</p> <p>[答]本日、教育委員会の方針を説明し、これから保護者の方々や地域住民の方々に説明に入りたい。保護者の方々にはPTAを中心として相談したい。地域住民の皆様方には、いつごろ、どのような範囲で説明させていただいたら良いかご相談したい。本日この場でご回答をいただかなくて結構。</p>
--	--	---

### 【松代地域】

	日時、会場等		主な意見等
1	日時	7月23日(火)	① 少子化となり中央に集中するのは仕方ないことだが、学校が統合されると松代地域で子育てする人が居なくなるのではないかと懸念がある。過疎化に拍車がかかる。教育環境や内容も変わるが、最終的には地域文化だと考える。松之山郷で生まれた子どもが妻有郷に入って、地域文化の中で育てられるのか心配がある。学校統合にはどの地域も抵抗があると思うが、学校名が十日町第一中学校、第二中学校、であれば十日町市の住民と
	会場	松代支所	
	対象	まつだい地域振興会 理事会	

人数	15人	<p>いう認識になるのではないかと考える。</p> <p>[答]子どもが少なくなることは、教育委員会も地域の皆さんも一緒の悩みである。学区適正化委員会の皆さんも苦渋の判断の中で答申を決めていただき、教育委員会でも全員賛成ではなかったことから大変難しい問題である。地域の文化がなくなるということであるが、孟地小学校が松代小学校に統合するときに、伊沢和紙で卒業証書を作るという特色ある教育活動を松代小学校へ引き継いでいただきありがたいと思う。教育委員会がお願いしたのでなく、地域の皆さんが話し合っただけで決めた。大地の芸術祭や国の重要文化財である松茸神社などは地域文化であり、子どもたちに学んでほしいと考える。学校名の提案については、統合の機会に受け入れ側にも伝えるので、議論していただきたいと思っている。</p> <p>② 松代小学校、松代中学校の耐震化についての状況と大規模改修や災害復旧についての市の方針はどうなるのか。少人数から大勢の中に入ると不登校になる心配があるのではないかと。子どもたちの登校に係る時間が30分早まり早起ししなければならないことをどう考えているか。小規模校でのデメリットを統合しないで解消する方法を検討したのかどうか。統合するまでの間は、そのデメリットを解消する取組をやれないものか。</p> <p>[答]松代小学校の耐震化は終了。松代中学校は、平成12年に耐震化と大規模改修を行っており、すぐに大規模改修が必要とは考えていない。この度、各学校全ての普通教室にエアコン設置を行った。命に関わるものについては早急に対応する。不登校の可能性は統合に関わらずあると考える。市内の小学生では0.74%、中学生では2.89%の発生率である。中学校では各種取組により、県平均程度に収まってきた。不登校は、家庭の環境によるものや特別支援が必要な子どもの増加によるものなどさまざまな要因があり一概には言えない。デメリットの解消に対する取組は、学校長の考えがあり、小規模校の飛渡第一小学校は、中条小学校や他の学校との交流活動を行っている。地域の要望があれば教育委員会も支援していく。</p> <p>③ スクールバスの検討は避けてとおれない。松代周辺地域には子どもたちだけでなく地域の人々の足になっているので深く検討したいと思う。第1便の始発時間が30分程度早まることで小学校に到着も早まるが、小学校が始まるまでどういう形で待つことになるのか。病院に通院される方も30分早まることで、今までと違うのでどうなるのか。帰りの便では、まつだい駅に着いてから周辺地域に送るバスがでるのか、保護者が迎えに行くのかで保護者の負担が変わるため検討してほしい。子どもたちが少なくなる中で市営バスの運営の採算が取れなくなると思うが、運行できるのかどうか。松代周辺地域は、冬期には午前7時に除雪が完了していない地域もあるため、豪雪地域として年間を通した通学について深く掘り下げないと住民の不安は解消されないと思う。</p> <p>[答]本日提示した資料が現在の検討状況であり、只今の質問に十分答えられないと思う。教育委員会だけでなく松代支所の力を借りながら、知恵を出し合っただけで検討したい。バスの運行については、組合のようなものを作って安定的な運行ができないか、ひとつの案として考えている。採算が取れている路線はないと思うが、市行政として必要なバス路線は確保するし、スクールバスについては採算という考え方ではなく必要なことは、最小の経費で最大の効果を考えながら具体的な検討を進めていく。</p>
----	-----	---

		<p>小学校に早く着く子どもたちの対応では、学校の体制として午前7時30分までに、職員が必ず出勤しているの、学校で受け入れる。学校との調整により校時表の若干の修正があるかも知れない。病院に通院する人については、公共交通全体の関連があるので、松代支所との調整が必要になると思う。市内には、子どもがひとりしか居ない集落では、バスではなく乗用車で送迎しており、それも含めて検討したい。</p> <p>④ 松代町当時から教育関係予算は、特別に配分してきた経過があると思う。また、地域の人も学校に思い入れが強く、PTAだけでなく子どもがいなくても、学校行事には最大限参加するという伝統が続いている。突然大規模校へ統合という話が出て、大規模校に子どもを集めるのでは、個性を伸ばす教育が難しくなる。小規模でも個性を伸ばす教育が求められてくるのではないか。松代でそういう教育の制度や学校運営を求めてほしい。</p> <p>[答]小規模でもきらりと光る教育活動をしている学校は沢山ある。貝野小学校は30年連続リコーダーの全国大会出場という偉業を成し遂げた。飛渡第一小学校についても、環境教育に力を入れてきた。いずれも地域の皆さんの支援があった中で取り組まれた。特色ある教育活動は、教育委員会が指示するというよりも、地域の皆さんが学校と協働しながら作り上げるものと思う。教育委員会はそういった活動に対して支援する立場ではないかと思う。松代地域に特色ある教育がより進んで、この地域で子どもを産み育てたいという人が出てきて、子どもたちが増えてくればいいことであると思う。</p>
--	--	---

### 【松之山地域】

日時、会場等		主な意見等
1	日時	7月8日(月)
	会場	松之山支所
	対象	松之山自治振興会 理事会
	人数	15人
		<p>① 理解を得るには、子どもにもメリットがなければならぬし、地域住民にもメリットがなければならぬ。子どもには、快適な環境にしてほしい。例えば水洗トイレであるとか冷暖房など何かしらのメリット、快適な学校というイメージが必要である。</p> <p>もうひとつは、中学校には地域のための施設が併設されている事例もある。耐震化は終わっているのか。閉校する学校の活用を閉校までに検討願う。</p> <p>[答]全ての学校で耐震化は終わっている。エアコンも普通教室全てに、5月には設置工事が完了した。トイレは、老朽化や臭いの強いようなところは改修し、洋式化を進めているところであるが、エアコン導入が緊急な課題となったため、洋式化を現在は中断している。</p> <p>② まつのやま学園は、市内全域から就学できると聞いた。自分が山村留学の担当であったので、その当時の青木先生と先般話をしたところ、長野県で幼稚園の山村留学を始めるということであった。都会の環境では子どもたちを思うように教育できないから長野県に引っ越して、生きる力が強い子どもを育てることを始めるとのこと。教育の場として大自然の中で育てるという新しい波がある。全国から子どもを集めようという考えがある。</p> <p>[答]まつのやま学園は、市内全域から就学できるが保護者から送迎していただく。生きる力という意味では</p>

			<p>まつのやま保育園も相当な力があると思う。キョロロには、森の幼稚園という方法で、子どもたちの学びの場を提供している。ぜひ全国発信できれば良いと思う。地域の皆さんの力をお借りしなければならないことなので、松之山自治振興会でもご議論いただきたい。</p> <p>③ 高齢化は仕方ないにしても、少子化対策が弱いと思うのでもっとがんばってほしい。また、松代中学校が南中学校に統合する方針だが、仮に松代中学校がまつのやま学園に行きたいとなった場合、スクールバスの送迎などは検討してもらえるのか。</p> <p>[答]まつのやま学園には、学区外就学で松代中学校の生徒は通学することはできる。学区外就学は、保護者の責任で通学するという考え方であるが、松代地域からこぞってまつのやま学園に就学するとなれば、検討が必要だと思う。</p> <p>④ 地域に学校がなくなることは非常に切ないという意味でいろいろな意見が出ると思う。保護者は、地域の話し合いでは意見を出せない。過去に保護者アンケートであればはっきりと意思表示されていた。教育委員会へ保護者から直接意見はないのか。</p> <p>[答]統合の方針を示す前にも、保護者から意見はある。未就学児をもつ母親が強く訴えてきた例がある。先ほどは、地域住民と保護者が一緒に会では保護者が意見を言いにくいという話があり、説明会を地域住民と保護者は分けてほしいということであれば、そのように対応する。</p> <p>⑤ このまま統合が進み、まつのやま学園がこのままであると、保護者としては不安になると思う。まつのやま学園には、全市的に就学ができるということを教育委員会が働きかけて、この形をこれからも継続するという考えはあるのか。</p> <p>[答]支援はさせてもらうが、できれば山村留学などを地域で検討してほしい。</p> <p>⑤ PTAやこれから親になる人が、統合した方が良いという考えになれば、基本的には統合に向かうということであれば、保護者には誤解の無いようにしながら落胆することのないように説明してほしい。説明の仕方では統合に意見が流れてしまうようなことが心配である。</p> <p>[答]10月にまつのやま学園で小規模な小中一貫校の全国大会があるので、全国ではどんな取組があるのか参考にしながら、今後どうするかを皆さんと相談したいと思う。</p>
--	--	--	---